

図書館企画展示の活動報告

附属図書館 竹下 真弓

図書館では「図書コミュニケーション」をキャッチフレーズに知的好奇心を共有する安らぎの場として、月1回のペースで企画展示を行っています。閲覧は可能ですので、是非ご来館ください。また、本学卒業生と森田地区住民の方には貸し出しを行っています。詳細は附属図書館ホームページ (<http://www.jin-ai.ac.jp/lib/>) をご覧ください。

●2018年4月「本屋大賞受賞作品展」

2018年本屋大賞受賞作『かがみの孤城』辻村深月著をはじめ、候補作品9冊を展示しました。



●2018年5月 「学園長の俳画展」

約200作品の中から22点を選び展示しました。法語に俳画を添えた作品は、見応えのある素晴らしいものばかりで、学生も足を止めてじっくり見入っていました。



●2018年6月「創作絵本展」

本学の生活デザイン専攻2回生が「デッサンⅡ」の授業で創作した27作品を展示しました。絵もストーリーも独創性あふれるオリジナル作品です。



●2018年7月「仁短文庫～みんなの文庫」

友達に紹介したい、オススメしたい本を募集し、選ばれた図書を展示しました。学生が選んでくれた様々な分野の本がずらりと並びました。



●2018年9月「絵本のいち見開き作品展」

幼児教育学科「言語」(2回生)の授業で創作された作品です。学生が工夫して創作した貼り絵とそれに添えられた言葉を楽しみました。



● 2018年9月「図書館サポーター選書本」

図書館サポーターが書店で選書した図書など82点をおすすめのコメントを添えて展示しました。様々なジャンルが揃っているため、毎年学生の人気を集めています。



● 2018年12月「ふるさと風花文庫」

昨年に引き続き、福井県立図書館「ふくい風花随筆文学賞」実行委員会様より、若い世代が読書や文芸創作への興味・関心が高まることを目的として選書された「ふるさと風花文庫」全110冊を12月～3月まで貸し出していただきました。福井ゆかりの作家や、福井を描いた作品も多数あり、バラエティ豊かな文庫を前に学生は興味津々に選んでいました。



● 2019年1月「第6回青空文庫表紙コンテスト」

Webサイト「青空文庫」には著作権の切れた古い文学作品が掲載されています。その中から3作品（今年は、『黄金風景』・『なめとこ山の熊』・『ヘンゼルとグレーテル』）を図書館が選び、作品の持つ魅力を一層際立たせる様な「表紙デザインコンテスト」を行いました。優秀賞受賞者には、副賞として図書カードと作品を表紙にした文庫本を贈呈しています。



※今年度優秀賞受賞作品

● 2019年1月「小倉百人一首大会」

この大会は、百人一首を通じ親交を深めることを目的に開催しました。授業の空き時間や、お昼休みなどに83名の参加者が百人一首の魅力に触れていました。



今後も、図書館が様々な人との交流や出会いの場、また安らぎの空間になるよう目指してまいります。